

テーマ	活動	今年度の対応	もう少しでできたこと	できなかったこと
生き物の棲みやすい川づくり（上下流問題） 多様な物理環境と生物生息環境の創出	本川モデル	<ul style="list-style-type: none"> ○中部電力との積極的な意見交換・情報共有 「流域圏年表へ発電用のダム completion などを 含めたい」という意見に対して、中部電力より 情報提供いただき、年表に反映 ○流域圏年表へ反映 第 50 回 WG で取水状況に対する意見があ がり、流域圏年表に取水状況を反映 ○安城市の水田貯留事業に関する情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 各課題に対する川部会を主導となる活動 生きものの棲みやすい川づくりに関する議論 矢作川本川の各地点評価 土砂に関する議論からの望ましい像の提案 	<ul style="list-style-type: none"> 流域の化学物質の移動についての議論 （一部合同部会で実施） 明治用水や中電との率直な意見交換 農業・工業・生活用水についての議論 水域外と水域の関連性の理解 河川環境改善実験による改善策の作成 川沿いを歩きながらの議論 土砂管理に関する取り組みの具体化 本川内の地点別評価
	支川モデル	<ul style="list-style-type: none"> ○郷東川多自然川づくりの現地視察 ○岩本川の現地視察実施 	<ul style="list-style-type: none"> 懇談会が主体となる環境改善手法の具体化 岩本川の小さな自然再生 （市民主体による取り組み：新時代のモデル） 	<ul style="list-style-type: none"> 合流点の様子・支川の合流点の少し上流 部分の形態評価 家下川モデルとしての水系の河川情報の 集積（生物多様性の保全・川利用）
地域の人々と川との関係を中心とした、地先 の課題（河川空間の利用・保全のあり方）	地域連携モデル	<ul style="list-style-type: none"> ○河川財団・日水コンの業務（河川ごみマップ作成）への情報提供 ○市民部会との連携 ○愛知県の参加（計 2 回、計 5 人） ○中部電力の参加（計 3 回、計 1 人） 	<ul style="list-style-type: none"> メンバーの拡大、市民の議論参加の拡大 堤防の全川踏破 県市の河川管理者、電力会社の参加 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの問題等の課題の解決に向けた市民へ の啓発 矢作川への関心向上のための新たな取り組 み、観光業界との連携など 流域の諸政策行政縦割りの見える化 地先の活動内容の把握・評価 河口周辺の課題解決に向けた取り組み

他部会との協働（特に海部会）・課題に対する川部会主導の行動